

# 新飯能

発行  
日本共産党  
飯能市委員会  
973-1091

金子とし江  
090-7265-1601  
山田とし子  
090-4389-4439  
新井たくみ  
090-4010-5650  
滝沢おさむ  
090-7000-4481

<議員団の連絡先>  
973-2111(市役所456)  
Mail jcp-sigi@  
pluto.plala.or.jp

## 飯能河原観光トイレ問題 市民が監査委に監査請求

美杉台在住の加藤久忠さんと永田台在住の中島計司さんは8月13日、飯能市監査事務局に対し、飯能河原の観光トイレ建設にあたり、「市議会の審議権、議決権を無視し、住民自治の土台を破壊するものであり、市長の責任は極めて重大」として、「飯能市長に対する措置請求書」（監査請求）を提出しました。

### 経過と問題点

対応した若林監査事務局長は、8月末に監査があるため、この時に論議になり、60日以内に監査結果が出されることになると話しています。

### 二度と繰り返さない措置を

平成29年度当初予算で飯能河原・割岩橋下の観光トイレ建て替え（工事費3280万6000円と設計委託料409万8150円）を議決。ところが、新年度予算成立直後の4月、当初の建て替え計画は次年度でリフォームに、新観光トイレ建設は、堰上に変更。7月7日に新設トイレの設計とあわせて次年度の割岩橋リフォームの設計契約を締結。8月22日の議会全員



脱して、予算の適正な執行を妨げたものといわなければならぬ。自ら提案した予算内容とは全く別のものに変え予算執行をするという事は、市議会の審議権、議決権を無視し、住民自治の市政の土台を破壊するものであり、これを了とした市長の責任は極めて重大である。

以上の立場から、市長に対してこのような経過に至った全ての内容を包み隠さず市民と市議会に明らかにし、このような暴挙を二度と繰り返さないようにするため、その

## 囲碁・将棋大会 埼玉西南地区大会

9月9日(日)午前9時30分～  
飯能市富士見公民館(集会室)  
参加費:(昼食付き)  
一般(高校生以上) 1300円  
中学生まで 1000円  
級別対局  
A級(名人戦) 4段以上と希望者  
B級 2級から3段  
C級 3級以下  
主催:赤旗全国囲碁将棋大会実行委員会  
後援 日本将棋連盟 日本棋院  
申し込み:04-2921-0703

## 飯能市平和委員会が 終戦記念日に宣伝行動

飯能市平和委員会は終戦記念日の8月15日、飯能駅北口で宣伝行動を行いました。



謝罪と特段の利益を受けたフィンテック社に成分の負担を求めるべきである」としています。

菅間徹、杉田実、佐藤弘、吉田敏男、長谷川順子、新井巧氏がリレートークで、平和の大切さと自らの思いを訴えました。マイクを握った飯能市平和委員会事務局長の菅間さんは、「今日は73年目の終戦記念日です。5月に飯能市平和委員会を発足して終戦記念日にあたって戦争する国づくりを絶対に許さない決意と訴えを行いたいと思いま

## 波紋

前号で山川さんの「私の敗戦記念日」を読みました。小学二年生だった山川少年は、玉音放送があったあの日、名栗川に泳ぎに行っていたという。そして「あの日が猛暑であったこと、青い空に白い雲が浮いていたこと、盆供養から帰る人達の沈み切った表情、七十二年も経つのに鮮明に戻ってくる敗戦記念日なのだ」と書いています。作家の宮本百合子はその時のことを「播州平野」で「大気は八月真昼の炎暑に燃え、耕地も山も無限の熱気につつまれている。が、村じゅうは、物音一つしなかつた。寂として音無し。全身に、ひろ子はそれを感じた。八月十五日の正午から午後一時まで、日本じゅうが、森閑として声をのんでいる間に、歴史はその巨大な歴史を音なくめくったのであった」と書いています。鴻巣市では子どもに自衛隊の迷彩服(戦闘服)の試着体験をさせる自衛隊のイベントが共産党などの要請で中止になったといえます。戦闘服を着たら戦争まであと一歩です。



住民監査請求全文

措置請求の趣旨

1、飯能市は2016(平成28)年度において、割岩橋観光公衆トイレを解体し、建て替えることを決定し17(平成29)年度予算編成に置いて、割岩橋観光公衆トイレ建て替え工事費(32,800,600円)及び割岩橋観光公衆トイレ設計業務委託費(4,098,150円)を建築課により算出し計上した。

2、市は、17(平成29)年3月市議会に都市回廊空間整備事業(93,791,000円)として割岩橋照明設備設置工事、割岩橋観光公衆トイレの建て替えの2事業を提案し、市議会はこれらを含む17(平成29)年度予算を審議し議決した。

3、ところが市は新年度予算成立直後の4月、既存の割岩橋観光公衆トイレが河川区域内であることを理由に、割岩橋観光トイレ工事を一旦断念した。その予算を議会では全く審議検討されてこなかった大河原観光公衆トイレ新築に使うことを内部で検討し、4月29日には副市長と協議し決定した。しかし、5月1日には、県の土木担当課から、河川区域内であっても建築上の条件をクリアすれば、割岩橋観光トイレの建て替えも可能との見解が伝えられた。そこで、割岩橋観光公衆トイレは改修工事(リフォーム)とされた。

4、上記の経過から分かるように、議会で審議決定された17(平成29)年度予算の割岩橋観光トイレ建て替え工事予算と同設計委託予算がわずか1ヶ月の間に別物の予算に早変わりしたということになる。予算は市民の代表である議会が審議決定したものであり、行政は執行義務がある。

17(平成29)年度予算では大河原観光公衆トイレの新設工事費は一切計上されておらず、又新規事業一覧にも載っていないもので、今回の措置は明らかに予算の目的外使用である。なお、予算成立後わずか1ヶ月で、当初予算に計上した割岩橋観光公衆トイレ事業が執行不可能になるというような事態は通常はありえない。あるとすれば、提案した執行部側の調査不足、怠慢としか言いようがなく、その責任は免れない。しかも、「執行不可能」と判断した11日後には、「執行可能」と県担当課から、通知されているのであるから、少し待てば、割岩橋観光トイレ建て替え工事予算は議決どおり執行できたのである。

この経過から見れば、17(平成29)年度予算編成では全く俎上になかった大河原観光公衆トイレの新設工事は何らかの理由で予算にも計上されず、議会審議もせず、ある日突然強行されたのではないかと推測されても仕方がない。(続く)

秩父市におけるデマンド交通、自伐型林業など

日本共産党飯能市議団が視察

日本共産党飯能市議団は17日、秩父市における地域おこし協力隊の取



り組みと自伐型林業の地域おこし協力隊の取り組み 吉田・大田地域のデマンド交通システム 太陽光発電のガイドライン作成について、視察を行いました。

地域おこし協力隊の活動では、平成22年から総務省の事業を活用し開始現在までに11人が委嘱され3人の方が、秩父銘仙や樹液(メイプルシロップ)

プ)生産組合で活動しています。自伐型林業者の育成では、今年8月からの委嘱で、技術を習得してもらい、森林環境税などの交付を見込んで私有林の管理を想定しているとのことでした。

吉田・大田地域のデマンド交通では、丸通タクシーに委託、日に4便(月~金)で、午前8時

9時、10時、11時、13時、14時、15時30分、16時30分で運行。利用料金は片道500円、前日までの予約で4人以下の乗り合いとなっており

太陽光発電のガイドライン作成については、太陽光発電が悪いのではなく、住民の生活を脅かすような開発は止めなければならぬという立場で作成したものです。

自衛隊レンジャー部隊訓練に不安の声 原市場地域を中心に自衛隊のレンジャー訓練の通知が回覧されたことから「戦争を思い出して不安だ」という声や「中止できないのか」などの声が多数寄せられています。危機管理室にも同様な電話が入っているとい

ます。飯能市内では4年前から5回目となります。山岳地域での厳しい訓練です。市民の目に慣れさせることも狙いのようですが、明らかに武装した自衛官の軍事訓練にほかなりません。住民居住地での訓練は慎むべきです。

鬼燻(オニフスベ)



あ、「しゃれこーべ」が転がっている...? 初めて見つけた時は、何かに食べられ、形が頭蓋骨に見えたので、度肝を抜かれました。草むらや杉林の中に突然現れ、同じ場所に繰り返しません。大きさは、20cm~50cmにもなり、真っ白で表面はキノコにしては硬い感じ

読者の文芸

俳句

土手際に夕げの膳に茗荷の子  
梢から見す白花カラスウリ  
昼顔の咲きのほる杉名栗川 由治

庭先の石ころ分けて鳳仙花  
鈴虫や羽擦り切れて鳴き尽くす  
避難所に平穩祈る夏の星 たくみ

夏燕どこか異国のような朝  
オスプレイ夏燕(つばくろ)を鋭くし  
ひたすらに君にいたい日の水母(くらげ) 木瓜



子の進路親が主役で迷ってる  
あちこちを立てて妥協の寄せ細工  
ことさらに微妙な違い固執する  
好日